

ニセコ町議会一般質問データベース(H14.8~H26.6)

質問要旨	答弁要約	質問者	議会日より
コスト削減と抜本的な機構改革は	効率的な組織・機構改革に努める	牧野純二	平成14年8月
要介護高齢者に障害者控除認定証を	国・道の結論で検討	林克己	平成14年8月
学校週五日制により、地域社会との連携	体験の場確保に務めている	関谷弘	平成14年8月
放置廃屋の対策	撤去補助制度の検討	山本契	平成14年8月
悪質な訪問販売への対策は	未然防止に努める	松田裕子	平成14年8月
ブックスターを導入する考えは	誕生祝金との整合性の検討	松田裕子	平成14年8月
自転車練習コースの整備の考えは	今後の利用を考え、取り扱いを決定	一宮春雄	平成14年11月
情報化社会に伴う犯罪防止対策は	教育委員会、警察とも連携をとり対応	牧野純二	平成14年11月
各種健康診断に脳ドックも対象に	多額のため町費負担はむずかしい	松田裕子	平成14年11月
道の駅にオストメイトトイレ設置の考えは	身障者トイレを改修するよう予算化	松田裕子	平成14年11月
ごみの不法投棄の対策は	分別適正排出指導巡回とあわせパトロールを実施	松田裕子	平成14年11月
観光振興のためにもADSL運用を広範囲に	国の事業で整備できないか検討	渡部誠二	平成14年11月
合併問題とまちづくりをどう進めるのか	住民自治を大切に、この困難を乗り切りたい	林克己	平成14年11月
地域コミュニティ活動の活性化は	振興策を検討中	牧野純二	平成15年2月
財源縮小により来年度以降の町政運営は	経常経費を徹底的に詰める	渡部誠二	平成15年2月
あそぶくくに図書館書配置を	図書ボランティアの方々に協力を願う	松田裕子	平成15年2月
食品加工・販売の相談窓口を	農林課で出向く	松田裕子	平成15年2月
乳幼児医療費を6歳未満まで引き上げるべき	現状では年齢拡大はできない	林克己	平成15年2月
合併問題協議を七ヶ町村で	前向きに対処したい	一宮春雄	平成15年6月
本町の男女共同参画の比率は	女性の参加は管内的に低くはない	松田裕子	平成15年6月
グループホームの検討結果は	高齢者保険福祉計画第2期に盛り込む	松田裕子	平成15年6月
学童保育の体制を考え直すべき	話し合いの場を設ける予定	松田裕子	平成15年6月
法定協議会設立の時期は	今年の夏ぐらいが期限と思うが	牧野純二	平成15年6月
公共施設の整備方針は	地域の意向、施設の目的に応じた整備	牧野純二	平成15年6月
介護保険料など低所得者に負担軽減措置を	国の動向を踏まえ、軽減に努める	林克己	平成15年6月
土地利用策定の結果と今後の予定は	有効かを考えた上で、16年度に検討	高橋富雄	平成15年6月
大型ごみ収集料金の軽減を	収集事業者と相談してほしい	林克己	平成15年8月
桜ヶ丘公園の植物採取に対策を	看板などの設置をする	松田裕子	平成15年8月
カラーバリアフリー対策は	色の組み合わせ、表現の工夫に配慮	松田裕子	平成15年8月
公営住宅にドアチェーンを	早急に改善する	松田裕子	平成15年8月
農業、観光、商業の連携に場の提供	さらに広げる	渡部誠二	平成15年11月
外部からの職員評価制度導入	大事なこと、検討	松田裕子	平成15年11月
母子会設立の考えは	年内に設置の有無を判断	松田裕子	平成15年11月
合併を選択しない単独の協議は	町村が実情に応じ、独自に判断	林克己	平成15年11月
国保税のさらなる引下げを	前向きに検討	林克己	平成15年11月
ニセコ町農業の振興対策	認定農業者の増加策も強化	高橋守	平成15年11月
熊笹もちを観光土産品に	産業振興委員会で検討	山本契	平成16年2月
介護保険料、利用料の減免を	第三期介護保険事業で検討	林克己	平成16年2月
町村合併是非の住民投票は	判断のつかないときは視野に入れたい	松田裕子	平成16年2月
子どもの被害防止のため防犯ブザーを	公的負担の予定はない	松田裕子	平成16年2月
ニセコ農業を維持する方策を	話し合いを始めるので協力を	高橋守	平成16年2月
堆肥の小口販売は	肥料取締法の登録完了後	渡部誠二	平成16年5月
町内会未加入者への文書配布方法	個別郵送はできない旨連絡	檜榮寒	平成16年5月
ファイリングの維持管理指導は職員で	内部だけの管理徹底には限界	林克己	平成16年5月
町村合併の考え方と決断	遅くとも12月前後に最終判断	一宮春雄	平成16年5月
各種町補助金の見直しは	本年度においても適切に対応	渡辺富雄	平成16年5月
文書管理に要した総額	4年間で3,173万1千円	渡辺富雄	平成16年5月
子育て支援の充実は	来年3月に行動計画を策定	松田裕子	平成16年5月
CAPプログラムの導入は	本年度再検討	松田裕子	平成16年5月
有島記念館の運営改革は	民間委託も視野に入れ検討	渡部誠二	平成16年8月
廃プラ類を焼却対象とするときの対応	まだ、環境省から発表がない	松田裕子	平成16年8月
ボラバイト導入について	農家の希望を調査し検討	松田裕子	平成16年11月
台風被害に低利資金貸付の考えは	国・道の対策の動向も考慮し検討	小原久志	平成16年11月
蘭越町、法定協議脱後の考え	アンケート調査結果も踏まえ協議	渡辺富雄	平成16年11月
アンケート調査資料の参考方法	新たな枠組み検討にも重要	林克己	平成16年11月
次世代育成支援プランの取り組み	来年3月には行動計画を策定	林克己	平成16年11月
18号台風による被災者救済	国や道の動向、JAと協議し対策を講ずる	林克己	平成16年11月
台風18号被害の取り組み	関係機関とも慎重に検討	檜榮寒	平成16年11月
新規収納者育成の方策	町の将来を考え努力	高橋守	平成16年11月
有島団地をグループホームに	一般公住として扱う	松田裕子	平成17年2月
堆肥の小口販売は	4月下旬に販売開始予定	渡部誠二	平成17年6月

ニセコリゾート観光協会の事業内容	観光事業者の声が聞ける体制づくりを進める	渡部誠二	平成17年6月
指定管理者制度	今後具体的導入を検討	林克己	平成17年6月
住民台帳不正閲覧・使用の対処法	法の改正を主張	松田裕子	平成17年6月
配食サービス事業の基準	真に必要とされる人へのサービス	松田裕子	平成17年6月
発達障害児の支援	関係機関と連携しながら支援	松田裕子	平成17年6月
ニセコ中学校体育館の利用は	今現在、中学校と協議中	渡部誠二	平成17年8月
農産加工整備の充実	検討会を立ち上げ、整備して行く	松田裕子	平成17年8月
介護保険制度の見直しと低所得者対策	介護保険事業第三期計画で策定	林克己	平成17年8月
パソコンの私的使用規制の創設について	個人情報保護職員行動マニュアルを作成	一宮春雄	平成18年2月
ニセコの観光振興	産業プロジェクトを設置したい	渡部誠二	平成18年2月
AED(自動体外式除細動器)の設置及び普及促進を	平成18年度において対応	松田裕子	平成18年2月
職員の意識改革について	公正な評価と給与制度を	松田裕子	平成18年2月
介護保険料及び利用料の減免措置と救済制度	現行の月額保険料を上回らない額で	林克己	平成18年2月
建築における条例制定	ガイドラインの作成を視野に検討	松田裕子	平成18年6月
食育について	地場産物の活用を増やしていく	松田裕子	平成18年6月
高齢者事業団の補助金削減による運営	運営に支障がないように支援	林克己	平成18年6月
西武の道内撤退問題について	対策会議を早急に設置	一宮春雄	平成18年8月
西武のニセコ撤退	(株)プリンスホテルによる事業継続を要望	渡辺富雄	平成18年8月
大型観光施設売却問題の今後のニセコ町の対応	現状による事業継続を強く要望	渡部誠二	平成18年8月
防災について	関係機関を含め再検討	松田裕子	平成18年8月
ニセコブランドの確立	JA・観光事業者などに働きかけを行なっていく	松田裕子	平成18年8月
放課後子どもプランの検討	情報収集を図り、関係機関と取り組む	林克己	平成18年8月
産業プロジェクト構想の進捗状況と今後の計画	役場内プロジェクトチームで組織体制等の検討	渡部誠二	平成19年1月
教育行政の現状	特色ある教育活動の進展	渡辺富雄	平成19年1月
飲酒運転撲滅について	率先して呼びかけを	松田裕子	平成19年1月
商店街の活性化	商工会、商業者と検討を進めていく	松田裕子	平成19年1月
職員の健康管理	職場環境の充実を図る	松田裕子	平成19年1月
いじめ対策について	危機管理マニュアルで運用	松田裕子	平成19年1月
観光振興について	総合的なルール作りの検討	高橋守	平成19年1月
農業振興について	調査研究を早急に進める必要がある	高橋守	平成19年1月
介護保険料の低所得者軽減策と保険料の引下げ	第四期計画で保険料の軽減	林克己	平成19年8月
ニセコエリアの観光開発	建築ガイドラインの策定結果をもとに判断	高橋守	平成19年8月
ニセコ人材センター	情報発信の取り組みを検討	高橋守	平成19年8月
農地整備について	農用地基盤整備構想の策定において事業展開を検討	高橋守	平成19年8月
健康診査及び乳幼児医療費の助成	妊婦検診助成回数と乳幼児医療費対象年齢を拡大	青羽雄士	平成20年2月
公共施設の管理業務委託料	様々な観点から削減を	青羽雄士	平成20年2月
農地整備について	農村整備構想に基づき事業の推進を検討	猪狩一郎	平成20年2月
農地・水・環境保全向上対策事業	改善が図られるよう地域協議会に要請	猪狩一郎	平成20年2月
福祉灯油助成制度の対象者拡大	臨時的に助成を拡大	林克己	平成20年2月
観光開発規制について	準都市計画導入のための作業を進める	高橋守	平成20年2月
農作物の減収対策	現段階での財政的支援は難しい	小原久志	平成20年2月
公共施設の耐震化	早い時期での耐震診断を行う	青羽雄士	平成21年2月
就学援助制度受給認定保護基準額の拡大	当面は現状の基準で認定	林克己	平成21年2月
後期高齢者医療制度の保険料滞納問題	必要に応じ要請	林克己	平成21年2月
公費負担による妊産婦超音波健診助成制度の拡充	新年度から助成拡大に向け検討	林克己	平成21年2月
企業活動の縮小に伴う解雇の実態調査	町は調査権限がないが雇用状況等把握に努める	林克己	平成21年2月
消費者保護、詐欺対策	被害の未然防止啓発活動に一層努める	一宮春雄	平成21年2月
平成二十一年度予算編成方針	低迷する地域経済の活性化を第一に対策	一宮春雄	平成21年2月
小樽・黒松内間の高速、高規格道路実現に向けて	関係団体と連携協力し、一丸となった活動を	猪狩一郎	平成21年2月
灌漑水路について	町内十六組合の灌漑水路を調査	猪狩一郎	平成21年2月
そよかぜ通信廃止後の対策	広報紙や必要に応じた回覧などを通じ情報発信に努める	猪狩一郎	平成21年2月
オフトーク通信の廃止に伴う代替施設	オフトークにかわるものについて、必要性については十分理解	渡辺富雄	平成21年2月
小学生、中学生及び高校生の携帯電話の利用状況	小中学校への持ち込みを原則禁止とすることを基本	渡辺富雄	平成21年2月
有島記念館の運営方法	周辺環境を含め総合的な観点で考える時期	高橋守	平成21年2月
集落支援員制度の活用	この制度が本町にマッチするかどうかを含め検討していく	林克己	平成21年6月
ニセコ町長選挙にどのような立場で望むのか	前向きに今後後援会の皆さんとも相談し、判断をしていく	林克己	平成21年6月
ニセコハイソ隣接の町有地の有効利用	現在のところ新たな利用計画はないが、今後の方向は商工会と十分協議	小原久志	平成21年6月
地産地消の学校給食	食材の地場産品の活用を努めているが、一層の充実を目指していく	猪狩一郎	平成21年6月
本町はいじめにどのような対策をとっているか	学校・家庭・地域で子供を見守り、相談できるような体制が必要	猪狩一郎	平成21年6月
児童生徒の学力並びに体力向上の対策	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の詳細を分析中	青羽雄士	平成21年6月
山岳や雪崩遭難者などに対する捜索対応	引き続きニセコルールの支援や遭難事故防止の啓発、宣伝に努めていく	竹内正貴	平成21年6月
町道羊蹄近藤連絡線の改善	早期での歩道整備の検討を進める	猪狩一郎	平成21年8月
北海道新幹線の札幌延伸と在来線の存続	長期的視野に立って有効な交通手段の確保に取り組む	林克己	平成21年8月
ニセコ高校の振興	戦略的なテーブルをつくり存続対策を講じる	山本契	平成22年2月

町財政運営について	事業の優先度をつけ、積極的な財政運営	小原久志	平成22年2月
食料自給率と食のモラル	JAようていや教育委員会などと連携し取り組みを行う	猪狩一郎	平成22年2月
土日の託児所の開設	早めの開設に向け検討中	青羽雄士	平成22年2月
ニセコ町福祉有償輸送車の導入	民間事業者も含めて検討する	一宮春雄	平成22年6月
子宮頸がんワクチンの公費助成	医療機関の体制確立後、実施に向け検討する	林克己	平成22年6月
農村整備構想について	6月定例議会までには提案等できるよう進めたい	猪狩一郎	平成22年6月
企業の誘致について	PR用のネットワークと企業立地用地の確保	青羽雄士	平成22年6月
可燃ごみの処分方法	協議会でより深く検討する	猪狩一郎	平成22年8月
町税及び使用料等の収納状況と滞納対策	チェックマニュアル作成を含め早めの徴収に努める	竹内正貴	平成22年8月
新ごみ処理施設について	正確な情報を収集して最終判断	猪狩一郎	平成22年11月
浄化槽の水質検査費用の助成	国に対し法改正の要望を継続する	林克己	平成22年11月
緑の分権改革推進事業	環境に配慮したまちづくりに取り組んでいく	竹内正貴	平成22年11月
グループホームについて	町内事業者と協議し検討	青羽雄士	平成22年11月
水道水、水資源について	水源地の土地を取得し、安全な水の供給を行なう	青羽雄士	平成22年11月
ニセコ町のシンボルマーク	「事前情報提供」の制度を活用	猪狩一郎	平成23年2月
駅前再開発について	町民と情報共有し、話し合いの機会を設け検討	猪狩一郎	平成23年2月
商店街活性化について	実態に即した対策を講じる	青羽雄士	平成23年2月
国保特別会計への一般会計からの繰り入れ補てん国保税の減免	一般会計からの繰り入れも視野に入れる	林克己	平成23年2月
空き室・空き家の利用法	現状に合った制度の紹介等で対応	猪狩一郎	平成23年6月
グリーンエネルギー資源の調査、実証実験の結果	地域内エネルギー自給率の向上と循環型社会の構築の推進を考える	青羽雄士	平成23年6月
野生動物による農林業被害	鳥獣被害の防止に万全の対策を講じていく	青羽雄士	平成23年6月
東日本大震災に係る平成23年度ニセコ町予算の考え方	国の動向に注意しながら事業を進める	渡辺富雄	平成23年6月
泊原発と防災対策	後志町村会一体となって取り組み、必要な要請は引き続き行なっていく	斉藤うめ子	平成23年8月
「綺麗乃湯」入館料、町民利用者への一部助成	民間の経営手法の導入という目的は引き続き堅持する	斉藤うめ子	平成23年8月
ニセコ町敬老祝賀会と高齢化	民生委員や老人クラブの意見を聞き、今後の対応を検討していく	斉藤うめ子	平成23年8月
泊原発について	安全性確保については情報収集に努める一方、注意深くその対策の実行を見守る	猪狩一郎	平成23年8月
震災及び原発事故による観光経済損失と今後の対応	誘客に結びつく取り組みを進めていきたい	青羽雄士	平成23年8月
デマンド交通について	平成24年度からの試験運行を目指し、検討を進める	竹内正貴	平成23年8月
福島原発事故を契機に考える原発震災に係る問題	総合的な安全確保について今後とも強く要請を続けていく	三谷典久	平成23年8月
指名競争入札における業者選考審査の強化	状況に応じ、北海道が発行する総合評価値通知書等を十分に確認する	鎌田克己	平成23年11月
地域経済循環型への入札制度改善	引き続き調査検討を進める	鎌田克己	平成23年11月
小学校の選択制について	現状維持とする	斉藤うめ子	平成23年11月
フッ化物洗口について	情報収集に努め、庁内・現場と慎重な打合せをする	斉藤うめ子	平成23年11月
防災対策について	要援護者の個別計画の策定を進め、防災訓練の実施検討、防災用資材や機材の充実にも努める	青羽雄士	平成23年11月
泊原発について	関係機関と十分連携しながら対策を進める	猪狩一郎	平成23年11月
幼児センターの給食材料の産地確認	食材の安全性確保に十分留意し、保護者への産地表示も随時行なう	三谷典久	平成23年11月
幼児センターおよび学校給食食材における食の安全確保の問題	関係機関等と連携し、産地に関する情報収集・選定に留意する	三谷典久	平成23年11月
フッ化物洗口について	拘束力はないので保護者や現場と入念に話し合い考えていく	三谷典久	平成23年11月
原発問題について	関係機関との調整・連携の中で必要な対策を慎重に検討する	三谷典久	平成23年11月
まちづくり基本条例の評価	情報共有と住民参加を基本に、実情に合わせ改正すべきものと目標とすべきものについて	斉藤うめ子	平成24年2月
原発問題について	北海道による原子力防災計画の見直しの動向に留意しながら、必要な対策を検討していく	斉藤うめ子	平成24年2月
原発について	関係機関における情報提供と共有の必要性を重視し、各自治体と連携を図り検討を進める	猪狩一郎	平成24年2月
放射線測定器の購入	国からの無償提供が実現するよう、引き続き要請を行なっていく	三谷典久	平成24年2月
泊原発問題について	1、2号機の再稼働にあたっては、慎重の上にも慎重を期して判断されるべきである	三谷典久	平成24年2月
ニセコ町グリーンイノベーション推進事業	民間事業者の熱や電気利用の実態を明らかにし、積極的に協議しながら、再生可能エネルギー	三谷典久	平成24年2月
JR在来線経営分離問題について	情報収集に努め、正式同意する前に町民への報告・説明、意見交換を実施したい	三谷典久	平成24年2月
財政計画について	町の財政負担や借金返済の負担を増やさず、今後の財政見直し策定を進める	青羽雄士	平成24年2月
ごみ処理について	建設地である倶知安町の方針が定まっていない状況	猪狩一郎	平成24年6月
原子力防災計画	北海道などと連携し取り組んでいく	斉藤うめ子	平成24年6月
節電について	身近な節電を心がけながら、町全体の消費量の抑制に取り組む	斉藤うめ子	平成24年6月
有島記念会の運営	展示内容の充実・運営体制の充実・周辺環境の整備を重視する	斉藤うめ子	平成24年6月
校区外の入学許可	近藤小学校については歴史と伝統を重んじ、慎重に取り扱う	斉藤うめ子	平成24年6月
今年の大雪による被害状況と除雪	支援については、生活道路除雪費補助要項に基づいて実施する	斉藤うめ子	平成24年6月
12月議会の広報ニセコの配布に関する町長答弁	自治会への加入は自由意思。広報誌については希望された方には郵送も考慮している	三谷典久	平成24年6月
公営住宅に関する問題	状況を判断し、随時対応しながらバランスよく事業を実行する	三谷典久	平成24年6月
原子力防災計画	従来の防災計画とは全く異なるので、十分検討し作成する	三谷典久	平成24年6月
広域廃棄物処理の固形燃料(RDF)化方式	建設地である倶知安町の方針が定まっていない状況	三谷典久	平成24年6月
グループホームの整備	町の支援も考慮し、ニセコ福祉会との協議を進める	青羽雄士	平成24年6月
放射能測定と節電等	放射能測定器を活用し安全な給食を提供する。再生可能エネルギー等は調査検討を継続	斉藤うめ子	平成24年8月
休日保育について	改定後の状況も見ながら、検討していきたい	斉藤うめ子	平成24年8月
町長の公務について	講演、シンポジウム、セミナー等はニセコをPRできる絶好の機会である	斉藤うめ子	平成24年8月
町民への情報発信について	随時お答えしている	斉藤うめ子	平成24年8月
3月議会、広報ニセコに関する町長答弁	情報共有の基本原則を順守している	斉藤うめ子	平成24年8月
副町長の任期	副町長の任期は4年である	斉藤うめ子	平成24年8月

火葬場について	現在調査検討中	猪狩一郎	平成24年8月
企業誘致活動	積極的に誘致活動を進めていく	青羽雄士	平成24年8月
国保税の減免制度	加入者への周知方法を検討する	三谷典久	平成24年8月
給食食材の放射能検査体制の確立	現在検討中	三谷典久	平成24年8月
中央倉庫群再生事業	倉庫の劣化・耐震調査、周辺地区の現状分析を行いながら、検討を進める	三谷典久	平成24年8月
泊原発問題について	後志町村会の中で議論を交わしながら、判断していきたい	三谷典久	平成24年8月
可燃ごみ処理について	業務・設備ともに民間委託の方向で調整中	猪狩一郎	平成24年11月
二セコ町の男女共同参画とクォーター制	クォーター制の考え方はまちづくり基本条例にも組み込んでおり、実現に向けて配慮している	斉藤うめ子	平成24年11月
原発事故被災者の受け入れ体制	今後も柔軟に対応していく	斉藤うめ子	平成24年11月
節電の波及効果と自然エネルギー政策の今後	引き続き節電・省エネ活動を徹底し、自然エネルギー導入も計画的に進める	斉藤うめ子	平成24年11月
空き屋・老朽化した家屋等の調査と対策	現在調査を継続中である	斉藤うめ子	平成24年11月
孤独死の現状と対策	関係機関の協力を得てさまざまな対策を進めている	斉藤うめ子	平成24年11月
二セコ町審議会・委員会の人選	適正な人選に努めている	斉藤うめ子	平成24年11月
雪利用米穀貯蔵施設整備事業は景観条例等に照らし対応された	地域住民の不安が軽減されるよう迅速かつ積極的に対処し、今後は説明遅延の再発防止	三谷典久	平成24年11月
泊原発新安全協定	北海道に修正要望を提出、今後は周辺町村と情報共有を図りながら協議を進めていく	三谷典久	平成24年11月
フッ化物洗口の問題点	合意形成が整った段階で実施を進めるが、判断は各自主体的にできるものである	三谷典久	平成24年11月
冬期間の給食食材の確保	流通の仕組みを確保し、低温倉庫等を利用した食材の保持や長期保存をJAのようにと協議	三谷典久	平成24年11月
環境対策について	持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでいきたい	青羽雄士	平成24年11月
友好都市との交流	民間交流の支援を考慮し促進したい	青羽雄士	平成25年2月
表彰条例について	条例、規則等の見直しに今後取り組んでいきたい	猪狩一郎	平成25年2月
防災対策について	自主防災組織の組織化なども検討	斉藤うめ子	平成25年2月
放射線測定器の活用状況	GMサーベーター2台は8月に購入、簡易型ガンマ線スペクトロメーターは10月に貸与された	斉藤うめ子	平成25年2月
男女平等参画	性別にかかわらず町民が等しく町の政策意思の形成過程に参画できる機会を保障していく	斉藤うめ子	平成25年2月
いじめ対策	学校はもちろん、地域ぐるみでいじめの未然防止や早期発見、早期解消に取り組む	斉藤うめ子	平成25年2月
夜間議会の開催	議会の決定には最大限の努力をして応える	斉藤うめ子	平成25年2月
デマンドバス	実態をみながら改善策も検討していくが、当面この2台を有効活用する	斉藤うめ子	平成25年2月
安心安全な給食を提供するために	多方面にわたりできる限りの努力をしている	三谷典久	平成25年2月
給食食材の放射能検査体制	いくつかの課題を検討しながら適切な検査を実施していく	三谷典久	平成25年2月
泊原発再稼働の問題	様々な検証による事実関係や知見を得て検討していく	三谷典久	平成25年2月
いじめ問題	早期発見をし、一つ一つ解決しながら望ましい人間関係を築くよう、指導・支援を行なっていく	三谷典久	平成25年2月
職員研修について	多様なニーズへ対応できるよう指導・育成に努める	竹内正貴	平成25年2月
木育について	森林環境にふれる機会を充実させ、木育の取り入れを試みる	猪狩一郎	平成25年6月
フッ化物洗口は安全か、その有効性は	WHO(世界保健機構)ほかの機関で、むし歯予防に有効性があると認められている	斉藤うめ子	平成25年6月
二セコ町教職員の育成、養成	校内外でのさまざまな研修で、優れた実践を学び向上を図る	斉藤うめ子	平成25年6月
教育予算について	年度ごとに事業計画も異なるので、総額で多い少ないという見方はしていない	斉藤うめ子	平成25年6月
原発事故による被災者、子どもへの支援策	本町では予定していないが、民間団体の活動に対し支援を行いたい	斉藤うめ子	平成25年6月
二セコ町昆布岳風力発電プロジェクト	今回の調査結果をもってすぐに事業化を行うものではない	斉藤うめ子	平成25年6月
受動喫煙防止条例	現時点では条例制定は考えていない	斉藤うめ子	平成25年6月
高齢者専用住宅の必要性	サービス付高齢者向け住宅の整備を検討	青羽雄士	平成25年6月
フッ化洗口について	集団実施の意図はむし歯予防の平等な機会確保であり、各保護者が選択できる	三谷典久	平成25年6月
ごみの広域処理におけるRDF化問題	広域処理されている可燃ごみが約5割を占める俱知安町の意向にそって決定	三谷典久	平成25年6月
二セコ町地域防災計画・原子力災害対策編策定	住民参加と情報共有を基本とし、策定に取り組む	三谷典久	平成25年6月
住民からの意見・要望・苦情・相談等への対応の仕方	各担当課でできるだけ迅速に検討・対応する	三谷典久	平成25年6月
旧宮田小学校再利用	後志中部農業開発事業所に貸し付けを行うことを検討中	猪狩一郎	平成25年8月
中央倉庫群再活用事業	交流センターや観光客が集う交流施設としての利活用の方針をとりまとめている	青羽雄士	平成25年8月
集団フッ化洗口に関する情報共有と合意形成	保護者の意向を最優先に進めたいと考えている	斉藤うめ子	平成25年8月
子宮頸がんワクチンの副反応	接種希望の方は有効性や副反応のリスクを理解の上、接種していただきたい	斉藤うめ子	平成25年8月
地域防災計画への女性視点反映の取り組み	女性の参加等を含め多様な視点を取り入れたい	斉藤うめ子	平成25年8月
公的文書の元号と西暦の使用	元号による表記を原則としつつ、必要に応じて西暦を用いるなど国際社会に適用できるよう	斉藤うめ子	平成25年8月
敬老会と長寿祝い金	今後も継続したい	斉藤うめ子	平成25年8月
片山町政を振り返って	皆さんの理解・支援をいただき、数多くの事務事業に取り組ませていただいたことに感謝し	斉藤うめ子	平成25年8月
町長選挙について	これまでの4年間の経験を生かし、さらに今後4年間町政を担っていきたい	竹内正貴	平成25年8月
フッ化物洗口について	十分説明した後、保護者の同意を得て行う	三谷典久	平成25年8月
フッ化物洗口の経過はまちづくり基本条例が生かされているか	まちづくり基本条例に基づき実施している	三谷典久	平成25年8月
TPPが及ぼす二セコ町への影響	多岐にわたり大きなダメージを与え、地域の崩壊につながりかねないと考えている	三谷典久	平成25年8月
役場窓口での町民の意見・要望・苦情等を処理するシステムの構築	議論をしながら真摯に検討していきたい	三谷典久	平成25年8月
土曜授業について	情報の収集に努め、国に動向を見守る	斉藤うめ子	平成25年11月
郷土史について	現在二セコ町の開拓以降の歴史から学習を始めている	斉藤うめ子	平成25年11月
冬期間の給食食材確保のための流通販売等の仕組みづくり	現在地産地消推進のため検討を進めている	斉藤うめ子	平成25年11月
原子力防災避難計画編	すべての町民の周知に努める	三谷典久	平成25年11月
運動施設の整備	体育関係者や町民の意見を聞きながら、協議・検討をしていく	青羽雄士	平成26年2月
審議会等の委員選出に無作為抽出方式を採用することは	採用の予定はない	斉藤うめ子	平成26年2月
教育委員会の公開状況	公開の対象となっているものは公開している	斉藤うめ子	平成26年2月
全国学力テストの結果	教育全体の着実な取り組みを学校とともに検討・実施していく	斉藤うめ子	平成26年2月

学校給食食材の地元食材の使用	地元産食材を第一優先に考えている	斉藤うめ子	平成26年2月
集団フッ化物洗口による事故	作業手順の徹底と乳児センター・薬局双方でのチェック体制の強化を図っている	斉藤うめ子	平成26年2月
デマンドバスの運行状況	運行状況の実態を踏まえながら、検討を継続する	斉藤うめ子	平成26年2月
近隣との広域体制づくりの観光	行政区にとらわれず、広域での活動が不可避である	猪狩一郎	平成26年2月
原子力防災計画・避難計画編	現在見直し作業中だが、地域ぐるみの避難体制が課題	三谷典久	平成26年2月
フッ化物洗口について	再発防止に努め、実施していきたい	三谷典久	平成26年2月
国民健康保健の現状	将来に向けて広域化の推進に努めていきたい	三谷典久	平成26年2月
安心安全な給食食材の確保	遺伝子組み換え食品ではない国内産を中心に使用するように努めたい	三谷典久	平成26年2月
環境モデル都市の認定を受けて	国からの支援を優先的に受けられ、将来的なプラス効果がある	青羽雄士	平成26年6月
木質バイオマスについて	実証可能性の調査の結果、今回の導入は見送った	猪狩一郎	平成26年6月
国営農地再編整備事業	農業者への促進費を積極的に活用し、財政状況を勘案し基金の積立を検討	猪狩一郎	平成26年6月
202030運動	男女割合数値は設けず、皆が公平に参画できる機会をつくりたい	斉藤うめ子	平成26年6月
学校における政治教育の果たす役割	指導内容を工夫し、成長段階に応じた学習で社会の一員の自覚を促していく	斉藤うめ子	平成26年6月
生活困窮者自立支援法	就労への意欲や気力をなくさないよう、道や関係機関と連携して対応	斉藤うめ子	平成26年6月
子どもの貧困対策	支援の充実を図り、経済的理由で教育機会が失われないように努める	斉藤うめ子	平成26年6月
幼児センターの給食食材の遺伝子組み換え食品の対応	地元、道内、国内産を原料とした食材の調達に配慮したい	三谷典久	平成26年6月
低所得者向け公営住宅の整備	高齢者専用住宅の整備によるミスマッチ解消等を計画していきたい	三谷典久	平成26年6月
綺羅乃湯への木質バイオマス導入	安定的な経営のため代替エネルギーについて検討していきたい	三谷典久	平成26年6月
職員派遣について	各省庁とのネットワークの重要性を考え、町の将来的な発展のため決定	竹内正貴	平成26年6月